

次に、地方譲与税のうち所得譲与税が全額減額となつていますが、これは三位一体改革による税源移譲に基づく減額です。

地方交付税については、合併による特別交付税の追加支援が年々減少するとともに、普通交付税についても減額が予測されており、前年度比1.6%減の31億6千646万3千円を計上したところであります。

いずれにしても、歳入の算定にあたり、国の情報等を精査し、可能な限り堅実な歳入見込額を計上したところであります。

一方、歳出については、住民生活に直結した保健・医療・福祉や教育の充実、地域産業の振興、道路交通網や上下水道等インフラ整備など経年継続して実施している事業等については、適正規模の予算の確保に努めたところであります。

次に、少子・高齢化への対応や中山間地域の振興対策、IT化の推進などこれまでの課題に加え、地震等防災ニーズに対する危機管理対策、町村合併後の新たな行政課題についても所要の予算措置を講じたところであります。

しかしながら、その過程においては、歳入の減収に伴う歳出規模の適正化に資するため、厳しい査定を断行した次第です。特に普通建設事業費の単独事業を中心に、

事業の精選や緊急度を考慮し、財源の確保と適正運用に資することとしたほか、物件費、補助金、負担金等についても、事務事業の徹底した見直しを実施し、基本的に前年比マイナスシーリングで計上したところであります。

以上のとおり、平成19年度当初予算の編成にあたりましては、「費用対効果の原則」にかんがみ、予算執行の適正化・効率化に努めることを最優先に掲げるとともに、更なる、住民福祉の向上に努めることよって、鬼北町住民が「合併して良かった」と実感できるようになまちづくりで最善を尽くしたと考えています。

主要施策の概要

1 「美しい自然を子どもたちに伝えよう」

「21世紀は環境の世紀」とも呼ばれ、地球温暖化防止対策や資源循環型社会に代表される環境共生社会の実現は、持続可能な世界を形成するため、国全体に課せられた命題であります。

森林に囲まれ、四万十川の源流を持つこの豊かな自然は、先人から授かった大切な財産であり、将来にわたり残すべき貴重な特有の

資源です。そして、美しい清流と里山の再生は町民の願いであり、自然を愛する多くの人々の拠り所ともなっています。

「ふるさとの美しい自然を残そう・創ろう・伝えよう」をスローガンに、町民の高い環境意識の下、地域に応じた生活排水対策と資源循環型社会の形成を図り、自然環境の保全を着実に推進します。この取組を通じて、町全体で自然と共生する「真の豊かさ」を次代に引継ぎ、多様な生態系が守られた自然と日本一きれいな清流が流れる、日本の原風景を感じる美しい郷土づくりを目指します。

(1) 適切な土地利用の推進



森林の保全

森林の保全を図るため、計画的な植栽、保育、間伐などの森林施策を通じて、森林の荒廃防止を図り、また、遊休農地の解消、農業の受委託、農用地の利用集積、

中山間地域等直接支払制度の活用を通じ優良農地の保全に努めます。農地法、都市計画法等の法規制の適切な運用と指導により、農地・森林・自然公園区域などの適正管理と良好な生活空間の形成に努めます。

(2) 環境保全の推進

豊かな自然の継承に向けて、町民の高い環境意識の下にまち全体が一体となって、美しい清流の再生と環境共生社会の実現を図ります。そのため、地域単位の河川清掃、花いっぱい運動、農地・水・環境保全対策事業等まち全体の環境保全意識の向上や町民主体の環境保全活動を促進します。



花いっぱい運動

また、「広見川等をきれいにする連絡協議会」活動の強化と連携を推進し、町独自の水質浄化対策である環境浄化微生物「えひめA